

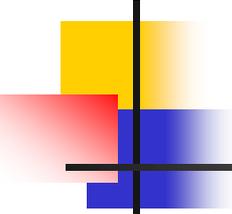
事前検証ツールについて

IHE-J接続検証委員会



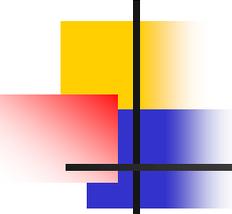
コンテンツ

- 事前検証ツール概要
- 事前検証ツール機能概要
- 事前検証ツールスケジュール



事前検証ツール概要

- 事前検証ツールとは
 - コネクタソン参加条件の事前テスト用検証ツールの一つ
 - IHE-Jコネクタソンのエミュレータ
 - 検証を行うのはHL7v2、DICOM3
 - ツールで検証するシナリオ・電文データはコネクタソンと同一



事前検証ツール概要

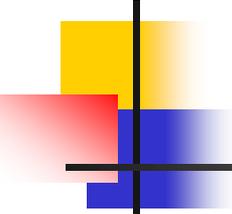
- 事前検証ツールはリリース 6 年目
- 事前検証ツールの目的
 - 均一な試験環境の提供
 - システム毎の事前確認によるトラブルの要因の削減
 - コネクタソン当日の円滑な接続検証実施

※本年度よりDICOM3にも適用



事前検証ツール機能概要

- 構成
 - バリデータ
 - 電文エクスプローラ
- 設定
 - ドメイン (RAD/ENDO等) を設定
 - 検証シナリオ (SWF/EWF等) を設定
 - 検証するアクタ (OP/OF/IM等) を設定
 - ツールと検証システムの通信環境設定 (IPアドレス/Port/AEタイトル)



事前検証ツール機能概要

■ 機能

－ バリデータ

- ・ シナリオの1セッション毎の通信検証
- ・ シナリオの経過検証
- ・ ログ出力

－ 電文エクスペローラ

- ・ 1電文のビューア (HL7v2、DICOM3)
- ・ 文法解釈

事前検証ツール機能概要

■ 検証フロー

① 起動



② 環境設定

項目	設定値
シナリオ設定	
ドメイン	放射線検査(RAD)
シナリオ	IHEJ RAD SWF 001(SIMPLE HL7_DICOM)
アクタ設定	
アクタ	OP
システム名	Order Placer
通信設定	
システム側	
HL7IPアドレス	127.0.0.1
HL7ポート	50000
DICOMIPアドレス	
DICOMポート	
DICOM AEタイトル	
テストツール側	
システム名	jizen
HL7IPアドレス	127.0.0.1
HL7ポート	60000
DICOMIPアドレス	
DICOMポート	
DICOM AEタイトル	
ツール側の電文受信タイムアウト	30 秒

ドメインの選択
シナリオの選択
テストアクタの選択
通信環境の設定



事前検証ツール機能概要

■ 検証フロー(続き)

③テスト実施

Scenario Launcher

テスト設定
シナリオ: [IHEJ_RAD_SWF_001(SIMPLE_HL7_DICOM)]
システム側: HL7IPアドレス[127.0.0.1] HL7ポート[50000] DICOMIPアドレス[] DICOMポート[] DICOM AEタイトル[]
テストツール側: HL7IPアドレス[127.0.0.1] HL7ポート[60000] DICOMIPアドレス[] DICOMポート[] DICOM AEタイトル[]

No	種別	送信アクタ	受信アクタ	説明	状態	オプション	送	受
1	HL7V2	OP	OF	OPからDSS/OF宛新規オーダー発行、メッ...	スキップ*	R	送	受
2	HL7V2	OF	IM	OFからIMへ新規オーダーの転送、メッセージ...	-	R	-	-
3	DICOM	AM	OF	OF宛にAMから新規オーダー情報取得、メッ...	-	R	-	-
4	HL7V2	OF	OP	OFからOP宛実施情報の送信、メッセージ...	送信	R	-	-
5	HL7V2	OP	OF	OPからDSS/OF宛新規オーダー発行、メッ...	-	R	-	-
6	HL7V2	OF	IM	OFからIMへ新規オーダーの転送、メッセージ...	-	R	-	-
7	DICOM	AM	OF	OF宛にAMから新規オーダー情報取得、メッ...	-	R	-	-

テストの開始 スキップ* シナリオログ確認 環境設定 閉じる

※掲載画面は10年度版のため変更される可能性があります

事前検証ツール機能概要

■ 電文エクスプローラ (HL7v2)

The screenshot shows the 'HL7v2 Explorer V1.00' application window. The title bar indicates the file is '新規作成.h17 [OMIメッセージ]'. The interface is split into two main panes. The left pane shows a hierarchical tree of message segments: MSH, PID, PVI, ORC, TQ1, OBR, and OBX. The right pane displays a table of fields with columns for '値' (Value), 'フィールド名' (Field Name), 'データ' (Data), 'オプション' (Option), and 'レポート' (Report).

値	フィールド名	データ	オプション	レポート
*8	コード文字	ST	R	
HIS001	送信アクション	HD	O	
<値なし>	送信施設	HD	O	
RI5001	受信アクション	HD	O	
<値なし>	受信施設	HD	O	
20110201174530	メッセージ日付/時間	TS	R	
<値なし>	セグメント	ST	O	
OMG'019'OMG_019	メッセージ型	MSG	R	
a000001	メッセージ制御ID	ST	R	
P	処理ID	PT	R	
25	バージョン情報	VID	R	
<値なし>	シーケンス番号	NM	O	
<値なし>	継続ポインタ	ST	O	
<値なし>	変換肯定応答型	ID	O	
<値なし>	アリア肯定応答型	ID	O	
<値なし>	国コード	ID	N	
ASCII ISO IR87	文字セット	ID	R	Y
<値なし>	主要言語	CE	O	
<値なし>	文字セット操作法	ID	O	
<値なし>	メッセージファイル識別子	EI	O	

※掲載画面は開発中ため変更される可能性があります

事前検証ツール機能概要

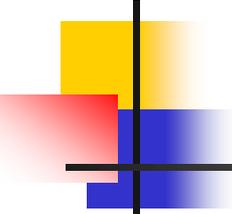
■ 電文エクスプローラ (DICOM3)

The screenshot displays the Dicom3 Explorer interface for a file named [E:\sample.dcm]. The main window shows a hierarchical tree of DICOM tags. The 'Scheduled Procedure Step Sequence' (0040,0100) is expanded, showing a 'Scheduled Protocol Code Sequence' (0040,0008) which is further expanded to show a 'Code Value' (0008,0100) with the value '1000000200010200', a 'Coding Scheme Designator' (0008,0102) with 'JJ0117-16M', a 'Coding Scheme Version' (0008,0103) with '3.1', and a 'Code Meaning' (0008,0104) with '×線単純撮影胸部立位正面(A→P)'. Below the tree, a search bar and a table of tag details are visible.

Tag	Attribute Name	VR	Values
0008,0005	Specific Character Set	CS	WISO 2022 IR 87
0008,0050	Accession Number	SH	2001 A01
0010,0010	Patient's Name	PN	PATIENT`B1=患者`B←
0010,0020	Patient ID	LO	1234567890
0010,0030	Patient's Birth Date	DA	19710202
0010,0040	Patient's Sex	CS	F
0010,4000	Patient Comments	LT	
0040,0100	Scheduled Procedure Step Sequence	SQ	
SequenceItem01			
0040,0008	Scheduled Protocol Code Sequence	SQ	
SequenceItem01			
0008,0100	Code Value	SH	1000000200010200
0008,0102	Coding Scheme Designator	SH	JJ0117-16M
0008,0103	Coding Scheme Version	SH	3.1
0008,0104	Code Meaning	LO	×線単純撮影胸部立位正面(A→P)
0040,0440	Protocol Context Sequence	SQ	
SequenceItem01			

Tag	説明
(0007,0001)	プライベートタグは0001,0003,0005,0007以外のグループナンバーである必要があります。
(7777,7777)	書式はnnnnDnnnWnnnMnnnYである必要があります。* 固定長

編集 中 ExplicitVRLittleEndian 整合性のチェック完了



事前検証ツールスケジュール

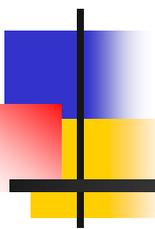
- 第2回ベンダーワークショップ詳細
 - デモによる使用方法説明
 - 具体的な運営方法
 - コネクタソンまでの詳細なスケジュール説明

- ツール配付について
 - 配付次期：7月末
 - 配付方法：WEBダウンロード予定
(URLについては
第2回ベンダーワークショップで告知)



事前検証ツールスケジュール

- コネクタソン参加条件
事前検証ツール実施結果の提出 **(必須)**
 - 期限：2011年9月末（予定）
 - 方法：第2回ベンダーワークショップ
で告知



ご清聴ありがとうございました

IHE-J接続検証委員会